



2023年1月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年3月8日
上場取引所 東

上場会社名 ミライアル株式会社
コード番号 4238 URL <https://www.miraial.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兵部 匡俊
問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 板羽 恒 TEL 03 (3986) 3782
定時株主総会開催予定日 2023年4月25日 配当支払開始予定日 2023年4月26日
有価証券報告書提出予定日 2023年4月26日
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年1月期の連結業績（2022年2月1日～2023年1月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年1月期	14,265	22.3	2,457	29.4	2,532	28.7	1,570	12.3
2022年1月期	11,661	19.8	1,898	118.5	1,968	106.3	1,397	38.5

(注) 包括利益 2023年1月期 1,542百万円 (13.3%) 2022年1月期 1,361百万円 (32.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年1月期	174.36	—	7.6	9.9	17.2
2022年1月期	155.28	—	7.2	8.3	16.3

(参考) 持分法投資損益 2023年1月期 ー百万円 2022年1月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年1月期	26,574	21,154	79.6	2,348.12
2022年1月期	24,489	20,030	81.8	2,224.69

(参考) 自己資本 2023年1月期 21,154百万円 2022年1月期 20,030百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年1月期	2,553	△3,053	△476	11,496
2022年1月期	2,078	△377	△384	12,471

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2022年1月期	—	20.00	—	25.00	45.00	405	29.0	2.1
2023年1月期	—	25.00	—	30.00	55.00	495	31.5	2.4
2024年1月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 現時点において2024年1月期の配当金については未定であります。

3. 2024年1月期の連結業績予想（2023年2月1日～2024年1月31日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第1四半期	4,000	8.8	700	△18.0	720	△16.6	500	△17.0	55.51

(注) 通期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから、開示しておりません。連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。詳細は、添付資料2ページの「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー 除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P.12「2. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年1月期	10,120,000株	2022年1月期	10,120,000株
② 期末自己株式数	2023年1月期	1,110,728株	2022年1月期	1,116,128株
③ 期中平均株式数	2023年1月期	9,007,290株	2022年1月期	9,002,697株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年1月期の個別業績(2022年2月1日~2023年1月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年1月期	12,738	27.1	2,296	32.7	2,405	31.7	1,502	15.6
2022年1月期	10,022	22.2	1,730	101.4	1,826	91.7	1,299	25.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年1月期	166.86	—
2022年1月期	144.40	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年1月期	24,873	19,934	80.2	2,212.71
2022年1月期	22,898	18,884	82.5	2,097.43

(参考) 自己資本 2023年1月期 19,934百万円 2022年1月期 18,884百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会社方針の変更)	12
(未適用の会計基準等)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症に伴う社会的制約が徐々に緩和される一方で、地政学的問題や資源価格の高騰等により景気回復が鈍化する等、依然として先行きが不透明な状況が続きました。このような環境の中、プラスチック成形事業においては、原料・購入部材の高騰や一部増産設備稼働による減価償却費や労務費の増加があったものの、旺盛な半導体需要が継続し、工場の高稼働率が維持される等により比較的堅調に推移しました。また、成形機事業においては、設備投資が回復基調にあり受注は堅調であったものの、購入部材の高騰や深刻な部品供給不足による工場稼働率の低下等により利益面で厳しい状況となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は14,265百万円(前期比22.3%増)、営業利益は2,457百万円(前期比29.4%増)、経常利益は2,532百万円(前期比28.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,570百万円(前期比12.3%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(プラスチック成形事業)

当連結会計年度の売上高は13,175百万円(前期比25.3%増)、営業利益は2,855百万円(前期比29.2%増)となりました。

(成形機事業)

当連結会計年度の売上高は1,381百万円(前期比3.2%増)、営業利益は171百万円(前期比21.3%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて68百万円増加し、17,420百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少975百万円があったものの、受取手形、売掛金及び契約資産の増加869百万円、商品及び製品の増加215百万円があったこと等によるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて2,016百万円増加し、9,153百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加1,995百万円があったこと等によるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,020百万円増加し、4,687百万円となりました。これは主に、電子記録債務の増加782百万円、未払法人税等の増加231百万円があったこと等によるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて59百万円減少し、732百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債の減少9百万、繰延税金負債の減少35百万円があったこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べて1,124百万円増加し、21,154百万円となりました。これは主に、配当金の支払450百万円があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益1,570百万円の計上があったこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ975百万円減少し、11,496百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,553百万円（前年度は2,078百万円）となりました。法人税等の支払額586百万円があったものの、税金等調整前当期純利益2,309百万円の計上等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、△3,053百万円（前年度は△377百万円）となりました。これは有形及び無形固定資産の取得による支出3,055百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、△476百万円（前年度は△384百万円）となりました。これは配当金の支払額450百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2024年1月期第1四半期につきましては、地政学的問題の長期化や高インフレ等の影響により、国内外の景気回復については依然として不透明な状況が継続するものと思われま

す。当社グループに関連する市場環境につきましては、プラスチック成形事業に関連する半導体業界の需要は調整局面を迎えつつも底堅く推移すると見られ、成形機事業につきましても、緩やかな設備投資の需要回復により比較的堅調に推移すると思われま

す。2024年1月期第1四半期の連結業績予想につきましては、売上高4,000百万円、営業利益700百万円、経常利益720百万円、親会社株主に帰属する当期純利益500百万円としております。

また、当社グループの主要製品は、短期間で需要動向が大きく変化する半導体業界の影響を強く受けるため、通期連結業績予想を現時点で合理的に算定することが困難であることから翌四半期累計期間の連結業績予想を開示しています。今後、通期連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年1月31日)	当連結会計年度 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,471,906	11,496,461
受取手形及び売掛金	2,851,684	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	3,721,411
電子記録債権	525,916	167,372
商品及び製品	619,405	834,854
仕掛品	585,855	572,482
原材料及び貯蔵品	253,713	444,612
その他	44,162	183,593
流動資産合計	17,352,644	17,420,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,071,937	7,547,527
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,022,249	△4,194,054
建物及び構築物（純額）	3,049,687	3,353,472
機械装置及び運搬具	6,290,688	6,529,693
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,738,566	△5,708,351
機械装置及び運搬具（純額）	552,121	821,342
土地	1,526,937	1,526,937
建設仮勘定	187,490	1,878,909
その他	5,413,363	5,740,003
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,333,119	△4,928,481
その他（純額）	1,080,243	811,522
有形固定資産合計	6,396,480	8,392,183
無形固定資産	69,783	48,524
投資その他の資産		
投資有価証券	385,968	371,770
保険積立金	85,342	79,473
繰延税金資産	121,062	141,427
その他	78,257	120,370
投資その他の資産合計	670,632	713,042
固定資産合計	7,136,896	9,153,750
資産合計	24,489,540	26,574,539

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年1月31日)	当連結会計年度 (2023年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	493,904	550,475
電子記録債務	1,368,084	2,151,039
未払法人税等	323,036	554,198
賞与引当金	258,108	302,746
受注損失引当金	6,554	1,679
製品保証引当金	2,120	1,717
その他	1,215,655	1,125,697
流動負債合計	3,667,463	4,687,555
固定負債		
退職給付に係る負債	314,789	305,367
役員退職慰労未払金	131,780	131,780
繰延税金負債	55,227	20,127
その他	289,462	274,821
固定負債合計	791,260	732,097
負債合計	4,458,724	5,419,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,111,000	1,111,000
資本剰余金	1,303,144	1,303,633
利益剰余金	19,230,260	20,373,066
自己株式	△1,734,906	△1,726,512
株主資本合計	19,909,498	21,061,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,962	23,047
為替換算調整勘定	8,873	12,542
退職給付に係る調整累計額	77,481	58,109
その他の包括利益累計額合計	121,317	93,699
純資産合計	20,030,816	21,154,887
負債純資産合計	24,489,540	26,574,539

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)	当連結会計年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)
売上高	11,661,641	14,265,227
売上原価	8,107,499	10,033,840
売上総利益	3,554,142	4,231,386
販売費及び一般管理費	1,655,372	1,774,366
営業利益	1,898,769	2,457,020
営業外収益		
受取利息	411	403
受取配当金	7,629	10,272
保険返戻金	13,126	2,283
補助金収入	—	12,125
受取賃貸料	11,125	11,564
売電収入	43,281	46,633
その他	12,954	8,913
営業外収益合計	88,529	92,197
営業外費用		
為替差損	2,670	3,682
減価償却費	12,379	10,918
その他	4,016	2,360
営業外費用合計	19,065	16,961
経常利益	1,968,232	2,532,255
特別利益		
固定資産売却益	38,010	—
特別利益合計	38,010	—
特別損失		
減損損失	—	222,397
特別損失合計	—	222,397
税金等調整前当期純利益	2,006,242	2,309,858
法人税、住民税及び事業税	570,317	803,395
法人税等調整額	37,949	△64,061
法人税等合計	608,267	739,333
当期純利益	1,397,975	1,570,524
親会社株主に帰属する当期純利益	1,397,975	1,570,524

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)	当連結会計年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)
当期純利益	1,397,975	1,570,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,863	△11,915
為替換算調整勘定	7,931	3,668
退職給付に係る調整額	△48,159	△19,372
その他の包括利益合計	△36,364	△27,618
包括利益	1,361,611	1,542,906
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,361,611	1,542,906

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2021年2月1日 至 2022年1月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,111,000	1,304,187	18,192,373	△1,740,034	18,867,526
当期変動額					
剰余金の配当			△360,088		△360,088
親会社株主に帰属する当期純利益			1,397,975		1,397,975
譲渡制限付株式報酬		△1,042		5,128	4,085
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△1,042	1,037,886	5,128	1,041,972
当期末残高	1,111,000	1,303,144	19,230,260	△1,734,906	19,909,498

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	31,098	942	125,641	157,682	19,025,208
当期変動額					
剰余金の配当					△360,088
親会社株主に帰属する当期純利益					1,397,975
譲渡制限付株式報酬					4,085
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	3,863	7,931	△48,159	△36,364	△36,364
当期変動額合計	3,863	7,931	△48,159	△36,364	1,005,607
当期末残高	34,962	8,873	77,481	121,317	20,030,816

当連結会計年度（自 2022年2月1日 至 2023年1月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,111,000	1,303,144	19,230,260	△1,734,906	19,909,498
会計方針の変更による累積的影響額			22,610		22,610
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,111,000	1,303,144	19,252,870	△1,734,906	19,932,109
当期変動額					
剰余金の配当			△450,328		△450,328
親会社株主に帰属する当期純利益			1,570,524		1,570,524
譲渡制限付株式報酬		489		8,393	8,883
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	489	1,120,196	8,393	1,129,079
当期末残高	1,111,000	1,303,633	20,373,066	△1,726,512	21,061,188

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	34,962	8,873	77,481	121,317	20,030,816
会計方針の変更による累積的影響額					22,610
会計方針の変更を反映した当期首残高	34,962	8,873	77,481	121,317	20,053,426
当期変動額					
剰余金の配当					△450,328
親会社株主に帰属する当期純利益					1,570,524
譲渡制限付株式報酬					8,883
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△11,915	3,668	△19,372	△27,618	△27,618
当期変動額合計	△11,915	3,668	△19,372	△27,618	1,101,460
当期末残高	23,047	12,542	58,109	93,699	21,154,887

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)	当連結会計年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,006,242	2,309,858
減価償却費	489,606	899,562
減損損失	—	222,397
賞与引当金の増減額 (△は減少)	36,234	44,638
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,780	△402
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,186	8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△74,118	△27,536
受取利息及び受取配当金	△8,041	△10,676
為替差損益 (△は益)	2,608	3,682
保険戻戻金	△13,126	△2,283
固定資産売却損益 (△は益)	△38,010	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△444,433	△299,741
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△125,504	△574,441
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	177,805	△168,222
仕入債務の増減額 (△は減少)	392,042	839,531
未払消費税等の増減額 (△は減少)	118,589	△122,183
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	209,826	14,636
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	803	136
その他	4,235	—
小計	2,734,354	3,128,965
利息及び配当金の受取額	8,053	10,676
法人税等の支払額	△663,444	△586,336
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,078,963	2,553,306

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)	当連結会計年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△521,388	△3,055,415
有形及び無形固定資産の売却による収入	105,185	—
投資有価証券の取得による支出	△1,489	△1,893
保険積立金の積立による支出	△1,734	△480
保険積立金の払戻による収入	38,846	8,632
その他	2,630	△4,022
投資活動によるキャッシュ・フロー	△377,950	△3,053,178
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△24,206	△26,499
配当金の支払額	△360,088	△450,328
財務活動によるキャッシュ・フロー	△384,295	△476,828
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,415	1,256
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,320,133	△975,445
現金及び現金同等物の期首残高	11,151,773	12,471,906
現金及び現金同等物の期末残高	12,471,906	11,496,461

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、一部の取引について、従来は、一時点で収益を認識していたものを、一定の期間にわたり充足される履行義務と判断し、進捗度に基づいて収益を認識することに変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

また、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当連結会計年度より「受取手形」、「売掛金」及び「契約資産」に含めて表示しております。ただし、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

この結果、収益認識会計基準等の適用を行う前と比べて、当連結会計年度の連結貸借対照表は、「受取手形」、「売掛金」及び「契約資産」は394百万円増加し、商品及び製品は147百万円減少、仕掛品は132百万円減少しております。当連結会計年度の連結損益計算書は、売上高は183百万円増加し、売上原価は99百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ84百万円増加しております。

当連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書は、税金等調整前当期純利益は84百万円増加し、棚卸資産は99百万円増加しております。

当連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、連結株主資本等変動計算書の利益剰余金の期首残高は22百万円増加しております。

1株当たり情報に与える影響は当該箇所に記載しております。

なお、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る「収益認識関係」注記については記載しておりません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用しております。

これによる、連結財務諸表に与える影響はありません。

（未適用の会計基準等）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別のセグメントから構成されており、製品・サービスの経済的特徴、内容、製造方法の類似性等を考慮した上で集約し、「プラスチック成形事業」及び「成形機事業」の2つを報告セグメントとしております。

「プラスチック成形事業」は、シリコンウェーハ出荷容器及びシリコンウェーハ工程内容器等の半導体関連製品、フルイドシステム製品、電子部品、金型等のその他関連製品を製造・販売しております。

「成形機事業」は、堅型射出成形機を中心とした成形機、金型及び関連製品を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2021年2月1日 至 2022年1月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,327,949	1,333,691	11,661,641
セグメント間の内部売上高又は振替高	185,918	5,159	191,077
計	10,513,868	1,338,850	11,852,718
セグメント利益	2,210,073	218,459	2,428,532
その他の項目			
減価償却費	400,652	43,832	444,484

当連結会計年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	
売上高			
一時点で移転される財	13,003,708	504,159	13,507,867
一定の期間にわたり移転される財	3,205	754,154	757,359
顧客との契約から生じる収益	13,006,913	1,258,313	14,265,227
外部顧客への売上高	13,006,913	1,258,313	14,265,227
セグメント間の内部売上高又は振替高	168,249	123,635	291,884
計	13,175,162	1,381,949	14,557,111
セグメント利益	2,855,160	171,910	3,027,070
その他の項目			
減価償却費	739,868	72,934	812,803

(注) セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載しておりません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,428,532	3,027,070
セグメント間取引消去	△40,744	20,174
全社	△489,018	△590,224
連結財務諸表の営業利益	1,898,769	2,457,020

(単位: 千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	444,484	812,803	32,742	29,219	477,226	842,022

【関連情報】

前連結会計年度（自 2021年2月1日 至 2022年1月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

売上高

(単位：千円)

日本	欧州地域	アメリカ地域	アジア地域	合計
6,440,220	320,665	331,534	4,569,221	11,661,641

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント
丸紅ブラックス株式会社	1,850,860	プラスチック成形事業
株式会社SUMCO	1,712,261	プラスチック成形事業
SK SILTRON Co., Ltd.	1,328,725	プラスチック成形事業

当連結会計年度（自 2022年2月1日 至 2023年1月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

売上高

(単位：千円)

日本	欧州地域	アメリカ地域	アジア地域	合計
7,454,646	370,364	475,341	5,964,874	14,265,227

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント
株式会社SUMCO	1,905,972	プラスチック成形事業
SK SILTRON Co., Ltd.	1,642,673	プラスチック成形事業
丸紅ブラックス株式会社	1,600,748	プラスチック成形事業
Shanghai Kloop Semiconductor Technology Co., Ltd.	1,444,535	プラスチック成形事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年2月1日 至 2022年1月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年2月1日 至 2023年1月31日）

（単位：千円）

	プラスチック 成形事業	成形機事業	全社・消去	合計額
減損損失	222,397	—	—	222,397

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年2月1日 至 2022年1月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年2月1日 至 2023年1月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年2月1日 至 2022年1月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年2月1日 至 2023年1月31日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 （自 2021年2月1日 至 2022年1月31日）		当連結会計年度 （自 2022年2月1日 至 2023年1月31日）	
1株当たり純資産額	2,224円69銭	1株当たり純資産額	2,348円12銭
1株当たり当期純利益	155円28銭	1株当たり当期純利益	174円36銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

（注） 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2021年2月1日 至 2022年1月31日）	当連結会計年度 （自 2022年2月1日 至 2023年1月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益 （千円）	1,397,975	1,570,524
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益（千円）	1,397,975	1,570,524
期中平均株式数（千株）	9,002	9,007

（重要な後発事象）

該当事項はありません。